

日本景観生態学会第 20 回鳥取大会プログラム

Program of the 20th Annual Meeting of
the Japan Association for Landscape Ecology
(JALE20)

学会会長 森本幸裕（京都大学）

大会会長 長澤良太（鳥取大学）

President of JALE: Yukihiro Morimoto

President of Organizing Committee: Ryota Nagasawa

16 - 18 July 2010

日本景観生態学会第 20 回大会実行委員会

大会日程

7月16日（金） とりぎん文化会館

- 13:00-14:20 企画・交流委員会（2階，第6会議室）
- 14:30-15:50 編集委員会（2階，第6会議室）
- 16:00-17:30 運営委員会（2階，第6会議室）

7月17日（土） とりぎん文化会館

- 8:15- 受付（部屋に入れるのは8:45頃になります）
- 9:00-12:00 口頭発表（2階，第2会議室）
- 12:00-13:00 昼食
- 13:00-14:00 ポスター発表コアタイム（2階，第4会議室）
※ポスターは当日9:00-15:00の間掲示可能です。
- 14:10-15:00 総会（2階，第2会議室）
- 15:00- ワークショップ「景観生態学会のこれから」（2階，第2会議室）
- 15:00- プレ・エクスカーション（ご提案のみ，自由散策）
砂丘コース/久松公園コース/市内温泉コース
- 18:00- 懇親会（ホテルモナーク鳥取）

7月18日（日） エクスカーション

- 8:30-17:00 エクスカーション
「世界遺産登録をめざす三徳山の文化的景観と日本海の海岸砂丘」
(鳥取県東伯郡三朝町，鳥取市青谷町，貸し切りバス移動)

大会案内

受付

- ・ 7月17日 8:15 から受け付けを開始します。
大会参加と懇親会は当日受付も可能です。
- ・ 懇親会とエクスカージョンの費用は受付にてお支払い下さい。
大会参加費（当日可） 一般：3,000円 学生：1,500円
懇親会費（当日可） 一般：5,000円 学生：4,000円
エクスカージョン費 一般：3,000円 学生：3,000円

口頭発表（とりぎん文化会館2階，第2会議室）

- ・ 口頭発表者は当日 8:30 までに受付にお越しください。
- ・ 発表用ファイルは USB フラッシュメモリ で持参し，9:00 までに備え付けの PC にコピーしてください。USB フラッシュメモリ はあらかじめウイルスチェックをお願いします。
- ・ 口頭発表は 1 会場（2 階，第 2 会議室）です。
- ・ 発表時間は 15 分（発表 12 分，質疑 3 分）です。
- ・ 会場にはプロジェクタに接続された PC (Windows 7) を準備します。
- ・ Microsoft PowerPoint 2007 あるいは Adobe Reader 9 が使用できます。
- ・ 発表中の PC 操作は発表者自身でお願いいたします。
- ・ 発表者は次の演題の座長をお願いします。

ポスター発表（とりぎん文化会館 第 4 会議室）

- ・ ポスターは 12:00 までに展示を完了し，当日 15:00 までに撤去して下さい。
- ・ 展示場所はポスター会場の展示ボードにポスター講演番号で指示されます。
- ・ ポスターは 90cm（幅）×180cm（高）のボードに貼れるように作成下さい。
- ・ ポスターコアタイム 13:00-14:00 の間，ご自分のポスターの前で説明下さい。

ポスター賞

日本景観生態学会は，論文作成・発表技術の向上，研究者・技術者等の学会参加意欲の向上をとおして景観生態学を発展させていくために，優れたポスター発表をおこなった若手個人会員（おおむね 40 歳未満）を表彰することにしております。受賞者には，大会期間中，懇親会の席で表彰状を授与するとともに，学会誌「景観生態学」において氏名，発表論文題目等を公表し，これを称えます。

審査は複数の審査員により，次に示す観点で行われます。十分にご理解のうえ，ポスターをご準備下さい。

ポスター審査の観点

<第1段階審査>

- ・第1次審査では限られた時間内で聴衆をキャッチする能力が問われます。「キャッチ能力」

に優れた発表だけが第2段階審査の対象になります。

・数多くある発表の中から直感的に「選んでもらえる」ポスターであるためには、良いタイトル、良い要旨は不可欠ですし、視線を引きつける工夫も必要でしょう。また、短時間でおおまかな内容を伝える「わかりやすさ」も重要でしょう。

<第2段階審査>

・第2次審査では発表技術、研究の質にわけて審査されます。
・発表技術は、(1)字・図表が遠くからでもわかる、(2)情報過多でない、(3)説明なしでも要点が理解できる、(4)話の流れ(文章構造・論理展開)、(5)説明のわかりやすさ、(6)説明時間の長さ、(7)質問への応答が端的かつ的確、(8)聴衆全体に対する気配り、といった事項について審査します。

昼食

・7月17日(土)の昼食は近隣の食事処やコンビニエンスストアをご利用下さい。

プレ・エクスカージョン

・大会実行委員会で現地をご案内することまでは困難ですが、会場にデスクを置いて短時間で鳥取を散策できる3つのコースをご提案します。
・砂丘コース：路線バス、タクシーでの移動になります。
・久松公園コース：会場から歩いて散策できます。鳥取城跡、仁風閣(明治建築)など。
・市内温泉コース：鳥取の街並みを歩きながら市街地にわく温泉をお楽しみ下さい。

懇親会

・7月17日(土)18:00からホテルモナーク鳥取にて懇親会を行います。
・ホテルモナーク鳥取はとりぎん文化会館から歩いて約20分です。
・当日、懇親会出席者は、ホテルモナーク鳥取内の温泉が無料でお使いいただけます。タオルも無料貸し出しが可能です。

エクスカージョン

・7月18日(日)8:30 鳥取駅南口(次ページ地図参照) 出発
午前 三徳山登山(※雨天の場合は登れません)
昼食・休憩 ダイキンアレス青谷
午後 海岸植生の観察
17:00 鳥取空港 解散(予定)
17:30 鳥取駅 解散(予定)

・三徳山登山には両手を空けて、運動のしやすい服装が必要です。
・国宝投入堂までは徒歩約40分、標高差200mほどです。途中クサリ場があります。
・登る際にスカート、かかとの高い靴、革靴、サンダル、滑りやすい靴、スパイクついた靴などがチェックされ、登山を断られることもあります。ご注意ください。
・エクスカージョン費には昼食代が含まれています。
・昼食時に、ダイキンアレスの温泉に入ることができます。着替え・タオル準備ください。

とりぎん文化会館（鳥取市尚徳町 101-5, TEL0857-21-8700）へのアクセス

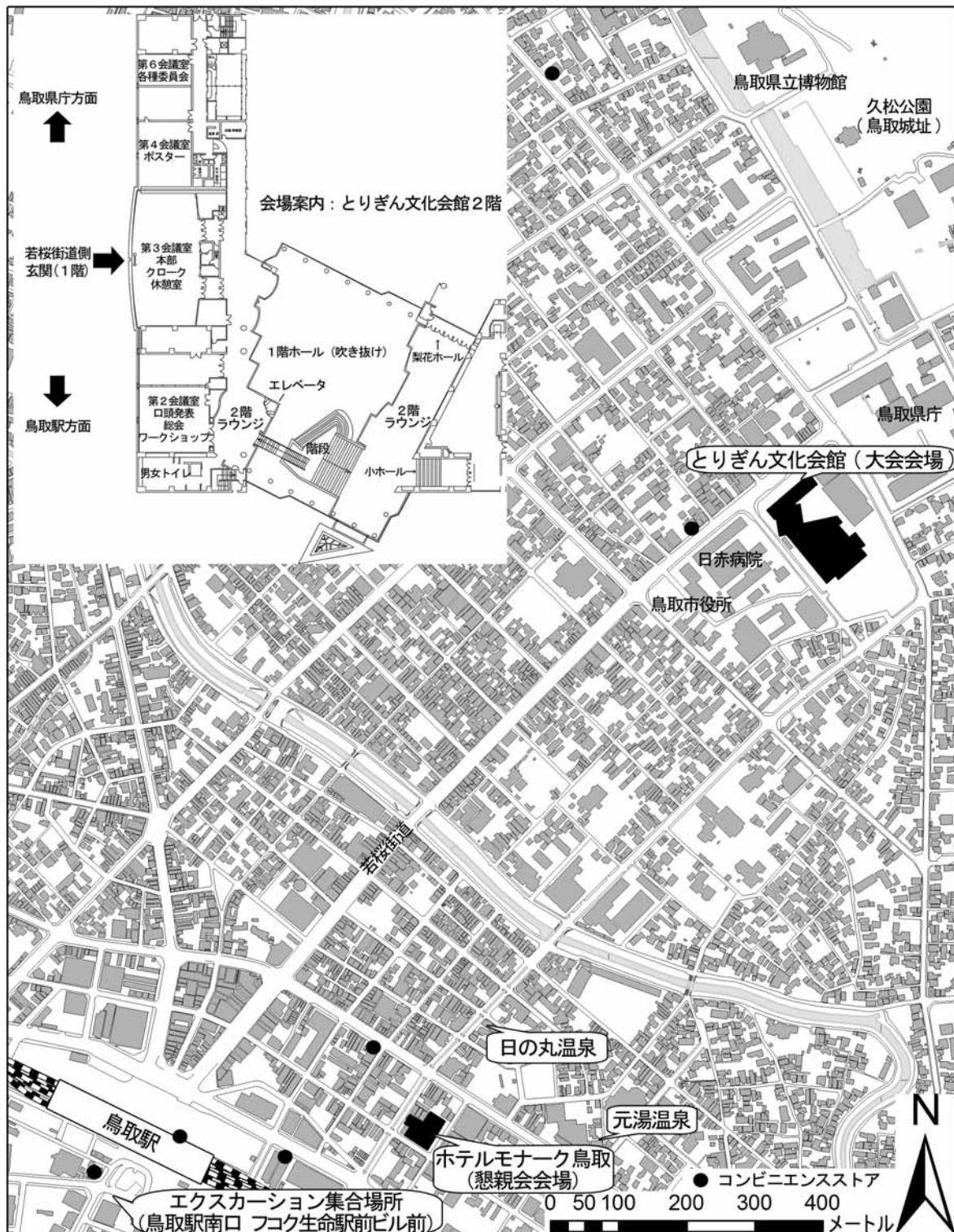
徒歩：JR 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約 20 分

バス：JR 鳥取駅から 100 円循環バス「くる梨」利用「16 とりぎん文化会館」下車

JR 鳥取駅から路線バス 湖山・鳥大線・賀露線など「日赤県庁前」下車

空港：タクシーで約 15 分。空港連絡バス「県庁日赤前」下車

※会館に無料駐車場はありますが、満車の場合が多いです。自家用車でのご来場はできるだけご遠慮ください。



ワークショップ「景観生態学会のこれから」

7月17日(土) 15:00- (第2会議室)

鎌田磨人 (日本景観生態学会幹事長)

日本景観生態学会 (JALE) の会員のほとんどは、いくつかの学会にはいって活動されているのではないかと思います。僕自身は、日本生態学会や応用生態工学会、また、幽霊会員ではありますが日本造園学会にも入っています。そして、今では「景観生態学、ランドスケープエコロジー」は、それぞれの学会の中で確固たる地位を占めるに至っていることを強く感じます。では、なぜ JALE なのでしょう。

僕自身は、他の学会にはない“根無し草的楽しさ”を JALE に感じています。“根無し草的楽しさ”とは、確固たる学問体系の枠にはまらない、もっと複合的な枠で空間を見る楽しみ、あるいは、何かが生まれる前の混沌とした浮遊感のある楽しさです。また、そのようなカオティックな研究やアイデアを、比較的こぢんまりとした、自由な雰囲気の中で表現できる楽しみです。

JALE のメンバーは、国連大学のプロジェクト「里山里海サブグローバルアセスメント」に大きな貢献をしていて、特に西日本地域では一つのクラスターを構成し、里山の評価を行ってきています。また、「比較景観生態学手法に基づく里山評価システムの開発 (科研費 (A), 代表: 夏原庶務幹事)」や「都市における生物多様性指標の開発 (科研費 (A), 代表: 森本会長)」など、国内外に貢献するユニークな研究プロジェクトを推進してもらっています。こうした研究プロジェクトを具体化して推進できるポテンシャルの高さも魅力の一つです。

一方で、JALE のアイデンティティは何なのか、学生さんや若い研究者、技術者にとっての魅力 (インセンティブ) をどこに見出すのかを問う声もあります。インセンティブの低さや会員数の少なさは、学会の運営に直接的な影響を及ぼします。例えば、学会誌の原稿をどのようにして集めるのか、誰が事務局を担うのか、どこで大会を開いていくのか、資金をどうするのか.. 会員が求める情報はどのようなもので、それは共有されているのか、といったことも問い直してみることも必要そうです。

JALE を持続的に発展させていくためには、この学会が持つ魅力 (インセンティブ) ・潜在性と課題を共有し、潜在性を活かした課題解決の方向と方法を見つけなければなりません。第 20 回の節目を迎えたこの鳥取大会で、学生さん、若手、中堅、ベテラン、研究者、技術者を問わず、日ごろ皆さんが考えていることを会員間で共有し、「景観生態学会のこれから」を検討できればと思い、このワークショップを企画しました。

この時間、しっかりと議論を楽しみ、そしてそのまま懇親会に流れ込めればと思います。ぜひ、ご参加ください。

口頭発表プログラム

7月17日(土) とりぎん文化会館(第2会議室)

発表12分, 質疑3分

<<水辺・緑地>>

9:00 OA-1 石狩川における河道の変遷とカワヤツメ幼生生息場の変化

○柳井清治(北海道工業大)・白川北斗(北海道大・水産科学研究院)・土田弘樹(北海道工業大)

9:15 OA-2 北海道石狩海岸における車両の通行が砂丘植生に与える影響とその復元について

○松島 肇・近藤哲也(北海道大院・農)・内藤華子・有田英之(石狩市)

9:30 OA-3 人のアクティビティと自然再生を目的とした河川空間デザイン

ー遠賀川河口堰多自然魚道及び周辺環境の設計とその課題ー

○伊東啓太郎(九工大・工・環境デザイン)・松本識史((株)オオバ)・山口英彦・松永泰裕・河崎信子・松本秀一(国交省・遠賀川)・北野真広(八千代エンジニアリング)・山本礼子・秦祐二(九工大・院・環境デザイン)

9:45 OA-4 市民共働型流域治水と都市環境デザインの可能性

○山下三平(九産大・工・都市基盤デザイン)・島谷幸宏(九大院・環境都市)・渡辺亮一・伊豫岡浩樹(福大・工・社会デザイン)・森山聡之(崇城大・工・エコデザイン)・角銅久美子・山下輝和(NPO 南畑ダム貯水する会)

<<野生生物管理>>

10:00 OA-5 有害捕獲データを用いた千葉県におけるイノシシの分布拡大予測

○斎藤昌幸・小池文人(横浜国大・環境情報)・百瀬浩(中央農研)・三平東作・植松清次(千葉農林総研)

10:15 OA-6 中国トキの営巣情報を用いた佐渡における営巣適地の抽出

○望月翔太(新潟大・院・自然科学)・リウ・ドンピン(中国バンディングセンター)・ルウ・ジュン(中国バンディングセンター)・関島恒夫(新潟大・院・自然科学)・村上拓彦(新潟大・農)・中川恭兵(新潟大・院・自然科学)

10:30 OA-7 国道9号鳥取バイパスに植栽された街路樹ニワウルシの逸出状況と種特性から見た侵略性の評価

○日置佳之(鳥取大・農・FSC)・高田真徳(おかやまの森整備公社)

<<景観管理>>

10:45 OA-8 九州におけるランドスケープ資産の把握に向けた単位空間把握への試み

藤田直子(九州大・芸工・環遺デ)

11:00 OA-9 植生の体系的変化の抽出と分断化指標による解析

ー北海道開拓跡地における事例ー

○庄山紀久子(国立環境研究所)・ブライモアデモラ(北大・GLP 札幌)

11:15 OA-10 景観解析から浮かび上がる沖積平野における水田地帯の植物分布パターン
○石田真也(新潟大院・自然科学)・高野瀬洋一郎(新潟大・超域研究機構)・紙谷智彦(新潟大院・自然科学)

11:30 OA-11 生物多様性保全につなげる谷津景観管理
○原慶太郎・ケビン ショート(東京情報大・環境情報)・田中健太・高橋一之・江村康平(東京情報大・院)・富田瑞樹(東京情報大・環境情報)・下嶋聖(東京農大・造園科学)

11:45 OA-12 「地域多様性」と生物多様性—地理学と景観生態学をつなぐコンセプト—
河本大地(神戸夙川学院大・観光文化・観光文化)

ポスター発表プログラム

7月17日(土) とりぎん文化会館(第4会議室)

コアタイム 13:00-14:00

<<竹林管理>>

PS-1 竹類の伐採が樹木実生の動態に及ぼす影響～伐採1年目の状況

○真鍋 徹(北九州自歴博)・堀田智洋(九州工業大学大学院)・伊東啓太郎(九州工業大学)・森田正子・篠原隆浩・宮崎賢一・太田昭夫(北九州市学研都市開発事務所)

PS-2 竹林内における埋土種子と間伐後の植生動態に関する研究

○堀田智洋(九州工業大・工・建設社会工学)・伊東啓太郎(九州工業大・工・建設社会工学)・高島紀子(国土交通省九州地方整備局)・池田朝二(九州工業大・工・建設社会工学)・真鍋 徹(北九州市立自然史・歴史博物館)

PS-3 福岡県直方市における竹林拡大の現状と竹材有効利用に関する研究

○松本拓也・伊東啓太郎(九州工業大・工・建設社会工学)・池田朝二(九州工業大・工・建設社会工学)・明石隆宏(株式会社 大林組) 高嶋紀子(国土交通省九州地方整備局)・

PS-4 淡路島北部における竹林の空間配置と林分構造及び管理意欲

○帆足和徳(兵庫県立淡路景観園芸学校)・藤原道郎・大藪崇司・澤田佳宏・山本聡(兵庫県立淡路景観園芸学校/兵庫県大大学院緑環境景観マネジメント研究科)

<<植生景観・緑地管理>>

PS-5 自然環境に配慮した木材生産のための集水域レベルでのゾーニング -宮崎県日向市でのケーススタディ-

○山川博美(森林総研・九州)・伊藤 哲(宮崎大・農)・寺原政志(日向市役所)・秋實範浩(NPOリバーシブル日向)

PS-6 鳥取県三徳山における樹木の垂直分布と気象条件の比較

○永松 大・宮野辰也(鳥取大・地域・地域環境)

PS-7 種多様性を考慮した韓国寺院林の生態学的管理研究

○李 晟齊(横浜国大・院・環境情報学府)・大野啓一(同研究院)

PS-8 多雪地冷温帯における林冠構成種の違いが林分の植物相に及ぼす影響

○大山 拓郎・石黒 奈々・紙谷 智彦(新潟大・院・自然科学)

PS-9 ニセアカシアの山地溪畔林の動態と林相転換試験

前河正昭(長野県環境保全研究所)

PS-10 A physiotope-based model for ecoregions for the nationwide ecosystem management of Japan

○Chen Siew Fong(京大・地球環境学舎)・増澤直((株)地域環境計画)・森本幸裕(京大・地球環境学舎)・伊勢紀((株)地域環境計画)

PS-11 瀬戸大橋建設が島嶼の植生景観に及ぼした影響-櫃石島と与島の場合

○張可・李晟齊・近藤博史(横国大・院・環情学府)・大野啓一(横国大・院・環情研院)

PS-12 江戸期における賀茂別雷神社の植生景観と資源利用

○今西亜友美(京大・地球環境)・杉田そらん(京大・農)・今西純一・森本幸裕(京大・地球環境)

PS-13 ため池・水路・水田における景観構造が水田生物に与える影響の評価

～淡路市の中山間地域を事例として～

○藤長裕平(兵庫県立大・院・緑環境景観マネジメント)・藤原道郎・澤田佳宏・大藪崇司・山本聡・梅原徹(淡路景観園芸学校／兵庫県立大・院・緑環境景観マネジメント)

PS-14 LiDER データを用いた林分構造把握の試み

○梶並純一郎(NPO法人地域自然情報ネットワーク)・世古口竜一(朝日航洋株式会社)・山下淳子(朝日航洋株式会社)・萩原信介(国立科学博物館附属自然教育園)

<<環境計画・野生動物管理>>

PS-15 確率的移住拡散モデルを用いた近畿圏におけるアライグマの拡散予測及び生息域評価

○土屋翔平・松井孝典・町村 尚・加藤 悟(大阪大・工・地球循環共生工学)

PS-16 土砂採取跡地に成立したハッチョウトンボの生息地保全手法に関する研究

○須賀奈津子・日置佳之(鳥取大・農)

PS-17 尻別川における絶滅危惧種イトウの生息環境解析

阿部このみ(株式会社 地域環境計画)

PS-18 北九州市における社寺林及び都市公園を対象とした鳥類出現状況とその要因に関する研究

○阪田暁(九州工業大・院・工・建設社会)・伊東啓太郎(九州工業大・院・工・建設社会)・森田大也((株)復建調査設計)・橋本大輔((株)国際開発コンサルタンツ)

PS-19 二次林と植栽緑地の混在と鳥類多様性の季節変化及びその要因

○村田麻理恵(鳥取大・院・地域)・中森純也(鳥取大・農)・永松大(鳥取大・地域)

PS-20 都市のはざまに残された里山

ー都市化による消失リスク VS 保全のためのソーシャル・キャピタル

○竹村紫苑・宮本 駿(徳島大・院・先端技術科学教育部)・鎌田磨人(徳島大・院・ソシオテクノサイエンス研究部)

<<リモートセンシング・GIS>>

PS-21 京都大学芦生研究林におけるナラ枯れを含む枯死拡大の経年変化と地形条件の解析

○今西純一(京大・地球環境)・矢野裕美子・山崎理正(京大・農)・今西亜友美(京大・地球環境)・夏原由博(名大・環境)・森本幸裕(京大・地球環境)

PS-22 ラスターデータの統計によるランドスケープの変遷に関する研究

○磯野 大・伊東啓太郎・阪田 暁(九州工業大・工・環境デザイン研究室)

PS-23 空中写真によるブナ樹冠の識別と種子生産量の推定

○小戸田紋郁・紙谷智彦(新潟大・院・自然科学)・村上拓彦(新潟大・農)

- PS-24 南アルプス国立公園聖岳における多時期のリモートセンシング画像を用いたニホンジカの採食の実態と植生動態の把握
○下嶋聖(東京農業大・地域環境・造園)・高橋一之(東京情報大・院・総合情報研究科)・鶴飼一博(南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク)・李雲慶(日本スペースイメージング)・原慶太郎(東京情報大・総合情報・環境情報)
- PS-25 省電力型短距離無線通信規格を用いた野生動物被害防除システムの研究開発
○伊吾田宏正・鈴木透(酪農学園大・環境)・松浦友紀子(酪農学園大・環境,森林総合研究所)・金子正美・星野仏方・吉田剛司(酪農学園大・環境)
- PS-26 マイクロ波後方散乱係数と熱赤外センサーを用いた大雪山五色ヶ原ササ進入域における地表面特性の抽出
○星野仏方(酪農学園大・環境)・工藤岳(北大・大学院地球環境)・金子正美・矢吹哲夫・米森舞乃(酪農学園大・環境)
- PS-27 全国無樹緑(むきりょく)マップと緑の等高線(等緑線)マップの作成
○金子正美・中谷曜子(酪農学園大・環境)
- PS-28 植生図作成のためのオブジェクトベース分類の適用検討
○浅井 樹・太田望洋・染矢 貴・廣永茂雄・塚本吉雄(アジア航測株式会社)
- PS-29 Google Earth IKONOS Online を用いた植生図作成手法の検討
○都日娜・長澤良太・吉田美幸・鬼迫佳史・篠崎蓉子・佐藤翔太・岡田大介(鳥取大・農・景観)
- PS-30 SPOT5 画像を用いた佐渡島におけるオブジェクトベースの林相区分
○村上 拓彦(新潟大・農)・中川 恭兵(新潟大院・自然科学)

<<環境学習・政策>>

- PS-31 子どもの遊びと環境学習を目的とした都市公園のデザインと子どもの行動に関する研究
○山本礼子・伊東啓太郎(九州工業大・工)・榎本敬子(北九州市)・大村康一郎(九州電力株式会社)・松本識史(株式会社オオバ)・藤原勝紀(放送大学京都学習センター)
- PS-32 子どもの遊びと環境学習を目的とした環境デザインに関する研究
—小学校ビオトープの活用による利活用者の意識と植生の変化について—
○富井 俊・伊東啓太郎(九州工業大・工・建設社会)・藤原勝紀(放送大学京都学習センター)・真鍋徹(北九州市立自然史歴史博物館)・大石悠乃(株式会社オオバ)・古賀亮人(復建調査設計株式会社)・廣渡寛佳(玉野総合コンサルタント株式会社)
- PS-33 子どもの自然体験を目的とした環境デザインに関する研究
—小学校ビオトープにおける環境の変化と子どもの行動について—
○高橋千裕・伊東啓太郎・富井 俊(九州工・工・建設社会)・真鍋徹(北九州市立自然史歴史博物館)・藤原勝紀(放送大学京都大学センター)・大石悠乃(株式会社オオバ)・古賀亮人(復建調査設計株式会社)・廣渡寛佳(玉野総合コンサルタント株式会社)
- PS-34 子供の遊びと環境学習に着目した空間デザインに関する研究
—日本と中国における学校空間の比較—
○張雅琛・伊東啓太郎・山本礼子・富井 俊(九州工業大・工・環境デザイン研究室)

- PS35 身近な自然環境の継続的な活用に関する研究 –学校林での体験学習を通じて–
○梅木 綾・伊東啓太郎(九州工業大・院・工)・下司雅美(明治学園小学校)・日数谷政一・秦祐二(九州工業大・院・工)
- PS-36 動物の痕跡から広がる環境教育～野生動物と暮らす地域に気づくために～
○坂野明日香(兵庫県立淡路景観園芸学校)・藤原道郎・澤田佳宏・大藪崇司・山本聡(淡路景観園芸学校／兵庫県大大学院緑環境景観マネジメント研究科)
- PS-37 谷戸の自然と農業を生かした保全教育の実験
○岩本菜々子・安東聡一郎・小泉恵佑(明治大・農・農)・芦澤和也(明治大・院・農)・野呂恵子・倉本 宣(明治大・農・農)
- PS-38 市民環境調査の進化を促す新ツールの提案
小串重治(グリーンフロント研究所(株))
- PS-39 協働による自然資源管理における地域ネットワークの構造
○源 典子(徳島大・院・建設創造システム工学コース)・鎌田磨人(徳島大・院・ソシオテクノサイエンス)
- PS-40 市民参加型里山景観保全活動における環境コミュニケーションの意義
○田中健太・原慶太郎(東京情報大)
- PS-41 都市におけるエコロジカルネットワーク構築に関する研究
–GISを用いた屋上緑化のポテンシャル評価–
○横山学爾(九州工業大・工・建設社会)・伊藤啓太郎・池田祐介(九州工業大・院・工)・磯野 大(九州工業大・工・建設社会)
- PS-42 自然再生を目的とした多自然魚道空間設計に関する研究
–ワークショップにおける住民の意識変化について–
○中本 昭・伊東啓太郎(九州工業大・院・工)・松本識史((株)オオバ)・秦 祐二(九州工業大・院・工)・山口英彦・松永泰裕・河崎信子・松本秀一(国交省・遠賀川)・北野真広(八千代エンジニアリング)
- PS-43 河川の空間特性及び周辺環境が来訪者の行動・意識に及ぼす影響
○秦 祐二・伊東啓太郎(九州工業大・工・環境デザイン)・松本識史(株式会社オオバ)・山口英彦・松永泰裕・河崎信子・松本秀一(国交省・遠賀川)・北野真広(八千代エンジニアリング株式会社)
- PS-44 パナソニック社事業所の生物多様性ポテンシャル評価
飯田慎一(パナソニック株式会社)・○増澤 直(株式会社地域環境計画)・原口 真(株式会社インターリスク総研)・伊藤俊哉(住友林業緑化株式会社)・伊勢 紀(株式会社地域環境計画)
- PS-45 基礎自治体による生物多様性保全の推進—広島県北広島町のとりくみ—
白川勝信(高原の自然館)

<<多様性保全・資源利用>>

- PS-46 大山道における自然・歴史探勝歩道の設計手法の検討
○吉田峰規(鳥取大・院・農)・日置佳之(鳥取大・農・FSC)

PS-47 生態系保全を目的とした都市の屋上緑化手法に関する研究

–軽量土壌を用いた屋上緑化の有用性評価–

○藤塚恭平・伊東啓太郎・三谷康範・石松一仁・池田祐介・西尾友佑(九州工業大・院・工)

PS-48 木障刈りによって成立している草地と農場建設に伴うシナリオ分析

○小泉恵佑・野呂恵子・倉本 宣(明治大・農・農)

PS-49 住居の外部構造の違いが室内環境に与える影響

～ガラス壁面，壁面緑化，屋上緑化，漆喰壁を比較して～

○池田祐介・伊東啓太郎・石松一仁(九州工業大・工・建設社会)・行平信義・高田修一(田川産業株式会社)

PS-50 バイオ燃料としてのジャトロファの生育適地・栽培適地，経済性評価

–インドネシア・ロンボク島でのケーススタディー–

○吉田城治(応用技術(株))・井内正直((財)電力中央研究所)

JALE2010（鳥取） 参加者名簿

氏名	ふりがな	所属	懇親会	エクス カーション	講演番号
浅井 樹	あさい みき	アジア航測株式会社・環境部・環境デザイン課	不参加	不参加	PS-28
阿部 このみ	あべ このみ	株式会社 地域環境計画	不参加	不参加	PS-17
井内 正直	いうち まさなお	電力中央研究所	不参加	不参加	
池田 祐介	いけだ ゆうすけ	九州工業大・工・建設社会工学専攻	参加	不参加	PS-49
伊吾田 宏正	いごた ひろまさ	酪農学園大・環境システム	不参加	不参加	PS-25
石田 真也	いしだ しんや	新潟大・院・自然科学	参加	参加	OA-10
伊勢 紀	いせ はじめ	株式会社地域環境計画	参加	不参加	
磯野 大	いその だい	九州工業大・工・環境デザイン研究室	参加	参加	PS-22
伊東 啓太郎	いとう けいたろう	九州工業大・工・環境デザイン	参加	参加	OA-3
伊藤 哲	いとう さとし	宮崎大・農	参加	不参加	
今井 貴浩	いまい たかひろ	東北大・農	不参加	参加	
今西 亜友美	いまにし あゆみ	京都大・地球環境学堂	参加	参加	PS-12
今西 純一	いまにし じゅんいち	京都大・地球環境学堂	参加	参加	PS-21
岩本 菜々子	いわもと ななこ	明治大・農・農	参加	参加	PS-37
梅木 綾	うめき あや	九州工業大・工・建設社会工・環境デザイン	不参加	不参加	PS-35
大野 啓一	おおの けいいち	横浜国立大・院・環情	不参加	不参加	
大山 拓郎	おおやま たくろう	新潟大・院・自然科学	参加	参加	PS-8
小川 裕子	おがわ ゆうこ	京都大・院・アジア・アフリカ地域研究	不参加	参加	
小田 悠介	おだゆうすけ	鳥取大・農	不参加	不参加	
越智 彩子	おち あやこ	応用技術(株)	不参加	不参加	
梶並 純一郎	かじなみじゅんいちろう	NPO法人地域自然情報ネットワーク	参加	不参加	PS-14
金子 正美	かねこ まさみ	酪農学園大・環境システム	参加	不参加	PS-27
鎌田 磨人	かまだ まひと	徳島大・院・ソシオテクノサイエンス研究部	参加	参加	
鬼追 佳史	きおい よしふみ	鳥取大・農	不参加	不参加	
木崎 巧治	きざき こうじ	宮崎大・農	参加	不参加	
小泉 恵佑	こいずみ けいすけ	明治大・農・農	参加	参加	PS-48
河本 大地	こうもと だいち	神戸夙川学院大・観光文化・観光文化	参加	参加	OA-12
小串 重治	こぐし しげはる	グリーンフロント研究所(株)	参加	不参加	PS-38
小戸田 紋郁	ことだ あやか	新潟大・自然科学研究科	参加	参加	PS-23
斎藤 昌幸	さいとう まさゆき	横浜国立大・環境情報	参加	不参加	OA-5
阪田 暁	さかた あきら	九州工業大・院・工・建設社会工	参加	不参加	PS-18
坂野 明日香	さかの あずか	兵庫県立淡路景観園芸学校	不参加	不参加	PS-36
佐藤 翔太	さとう しょうた	鳥取大学・農	不参加	不参加	
篠崎 蓉子	しのざき ようこ	鳥取大・院・農	不参加	不参加	
下嶋 聖	しもじま ひじり	東京農業大・地域環境科学・造園科学	参加	不参加	PS-24
庄山 紀久子	しょうやま きくこ	国立環境研究所	参加	参加	OA-9
白川 勝信	しらかわ かつのぶ	高原の自然館	参加	参加	PS-45
秦 祐二	しん ゆうじ	九州工業大・工・環境デザイン	参加	不参加	PS-43
淑 敏	すー みん	鳥取大・院・連合農学	不参加	不参加	
須賀 奈津子	すが なつこ	鳥取大・院・農	不参加	不参加	PS-16
鈴木 重雄	すずき しげお	立正大・地球環境	不参加	参加	
田頭 直樹	たがしら なおき	筑波大・人間総合化学研究科・世界遺産専攻	不参加	参加	
高橋 千裕	たかはし ちひろ	九州工業大・工・建設社会工・環境デザイン	参加	不参加	PS-33
竹村 紫苑	たけむら しおん	徳島大・院・先端技術科学教育部	参加	参加	PS-20
田中 健太	たなか けんた	東京情報大・総合情報	不参加	不参加	PS-40
田面 匠	たなほ たくみ	鳥取大・農	不参加	不参加	
谷本 茂	たにもと しげる	(株)建設技術研究所 東京本社環境部	不参加	不参加	
Chen Siew Fong	ちえん しゅふおん	京都大・地球環境学舎	不参加	参加	PS-10
千布 拓生	ちぶ たくお	鳥取大・院・連合農学	参加	参加	

JALE2010（鳥取） 参加者名簿

氏名	ふりがな	所属	懇親会	エクス カーション	講演番号
張 可	ちょう か	横浜国立大・院・環境情報学府	不参加	不参加	PS-11
張 雅琛	ちょう やちん	九州工業大・工・環境デザイン研究室	参加	不参加	PS-34
土屋 翔平	つちや しょうへい	大阪大・工・地球循環共生工学領域	不参加	不参加	PS-15
富井 俊	とみい しゅん	九州工業大・工・建設社会・環境デザイン	参加	不参加	PS-32
都日娜	ドルナ	鳥取大・農	不参加	不参加	PS-29
長澤 良太	ながさわ りょうた	鳥取大・農	参加	参加	
中田 康隆	なかた やすたか	鳥取大・院・農	不参加	不参加	
中野 響子	なかの きょうこ	鳥取大・農	不参加	不参加	
永松 大	ながまつ だい	鳥取大・地域・地域環境	参加	参加	PS-6
中本 昭	なかもと あきら	九州工業大・工・環境デザイン研究室	不参加	不参加	PS-42
中山 詩織	なかやま しおり	鳥取大・院・農	不参加	不参加	
夏原 由博	なつはら よしひろ	名古屋大・環境	不参加	不参加	
橋本 啓史	はしもと ひろし	名城大・農	不参加	不参加	
林 耕介	はやし こうすけ	鳥取県立青谷高校	不参加	不参加	
原 慶太郎	はら けいたろう	東京情報大・環境情報	参加	不参加	OA-11
日置 佳之	ひおき よしゆき	鳥取大・農・FSC	参加	参加	OA-7
平田 令子	ひらた りょうこ	鹿児島大・院・農	参加	不参加	
深町 加津枝	ふかまち かつえ	京都大・地球環境学堂	参加	不参加	
福島 あすか	ふくしま あすか	鳥取大・農・生物資源環境	不参加	不参加	
藤田 直子	ふじた なおこ	九州大・芸工・環遺デ	参加	参加	OA-8
藤塚 恭平	ふじつか きょうへい	九州工業大・院・工学府	参加	不参加	PS-47
藤長 裕平	ふじなが ゆうへい	兵庫県立大・院・緑環境景観マネジメント	不参加	不参加	PS-13
藤原 道郎	ふじはら みちろう	兵庫県大院・緑環境景観マネジメント/淡路景観園芸	不参加	不参加	
藤本 絵美	ふじもと えみ	鳥取大・農	不参加	不参加	
逸見 一郎	へんみ いちろう	株式会社 地域環境計画	参加	参加	
帆足 和徳	ほあし かずのり	兵庫県立淡路景観園芸学校	不参加	不参加	PS-4
星野 弘方	ほしの ぶほう	酪農学園大・環境システム	不参加	不参加	PS-26
堀田 智洋	ほった ともひろ	九州工業大・工・建設社会工学	参加	不参加	PS-2
前河 正昭	まえかわ まさあき	長野県環境保全研究所	参加	参加	PS-9
増澤 直	ますざわ ただし	株式会社 地域環境計画	不参加	不参加	PS-44
松島 肇	まつしま はじめ	北海道大・院・農	参加	参加	OA-2
松本 拓也	まつもと たくや	九州工業大・工・建設社会工・環境デザイン研究室	参加	不参加	PS-3
真鍋 徹	まなべ とおる	北九州自歴博	参加	参加	PS-1
源 典子	みなもと のりこ	徳島大・院・建設創造システム工学コース	参加	参加	PS-39
村上 拓彦	むらかみ たくひこ	新潟大・農	参加	参加	PS-30
村田 麻理恵	むらた まりえ	鳥取大・院・地域	参加	不参加	PS-19
望月 翔太	もちづき しょうた	新潟大・院・自然科学	参加	参加	OA-6
森本 幸裕	もりもと ゆきひろ	京都大・地球環境学堂	参加	参加	
柳井 清治	やない せいじ	石川県立大・環境科学	参加	参加	OA-1
山川 博美	やまがわ ひろみ	森林総研・九州	参加	参加	PS-5
山下 三平	やました さんぺい	九州産業大・工・都市基盤デザイン工	参加	参加	OA-4
山本 礼子	やまもと れいこ	九州工業大・院・工学府	参加	不参加	PS-31
横山 学爾	よこやま がくじ	九州工業大・工・建設社会工学科	参加	不参加	PS-41
吉田 城治	よしだ じょうじ	応用技術株式会社	不参加	不参加	PS-50
吉田 峰規	よしだ みねき	鳥取大・院・農	不参加	不参加	PS-46
吉田 美幸	よしだ みゆき	鳥取大・院・農	不参加	不参加	
李 晟齊	り すんじえ	横浜国立大・院・環境情報	不参加	不参加	PS-7
和田 秀次	わだ しゅうじ	(財)広島県環境保健協会	参加	参加	